

令和7年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類	授業担当者
子育て支援				演習	柿島 千恵子
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
2	1	30	15	後期	幼免:選択 保育士:必修
[授業の目的・ねらい] 保育士が行う子育て支援の特性を理解し、その内容・方法・技術を学ぶ。					
[授業全体の内容と概要] * 子どもの保育とともにを行う保護者支援の在り方を学ぶ。 * 支援の計画・実践・記録・評価・カンファレンスを学ぶ。 * 特別な支援や子どもの虐待予防と対応を学ぶ。 * 多文化共生社会について学ぶ。					
[受講上の注意事項] * 学ぶ姿勢で臨むこと。 * 配布資料を保管すること。 * 提出物は、期限を守ること。					
[使用テキスト] (改訂)子育て支援 中央法規出版社			[評価基準] 試験・提出物、授業態度		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目	授業内容			
1	子どもの保育とともにを行う 保護者支援	保育の特性、保育士の業務 保育所における子育て支援について			
2	保護者との相互理解と 信頼関係の形成	保護者との相互理解 保育者の基本的態度 — バイステックの7原則から —			
3	保護者や家庭の抱える支援ニーズ	保護者や家庭の現状 状況に配慮した個別の支援			
4	子どもと保護者の状況把握 支援の計画と環境の構成	ケースの発見からインテーク及びアセスメントについて 支援目標の設定 支援内容や方法の計画			
5	支援の実践・記録・評価 ・カンファレンス	保育士の専門的な知識・技術を活用した実践 記録の取り方・評価の観点			
6	職員間の連携・協働	連携・協働の必要性と取り組み			
7	社会資源の活用	社会資源とは 関係機関や専門職との連携・協働			
8	保育所等における支援(1)	保育所に通っている子どもの家庭への支援			
9	保育所等における支援(2)	地域の子育て家庭に対する支援			
10	保育所等における支援(3)	障害のある子どもとその家庭にに対する支援			
11	保育所等における支援(4)	特別な配慮を要する子どもとその家庭に対する支援			
12	保育所等における支援(5)	児童問題の背景 虐待の予防と対応			
13	要保護児童等の家庭に対する支援	社会的養護と養護施設の理解			
14	外国人家庭に対する支援	日本の多文化共生社会の現状			
15	まとめ	試験			
実務教員としての経歴		園勤務38年、行政職4年、現場保育士の指導6年及び保育士養成課程の講師を4年間勤めている。			
実務経験と授業の関連		保育現場や行政の場の子育て支援事業の実際を、保育士を目指す学生の養成に活かす。			